

中之島にはかつて「堂島米会所」と呼ばれる場所があった。

多くの蔵屋敷が立ち並び、全国から米が集まったこの場所では、米の「現物」取引だけではなく、将来の米の値段も取引された。

これが世界に先駆けた、日本最初の「先物」取引である。

「堂島米会所」はその後、大阪株式取引所へと発展し日本の株式市場の一翼を担うが、株式の電子化が進んだ現代、ついにデリバティブ取引専門の取引所となる。

Derivative（デリバティブ）とは派生的、副次的を意味する言葉である。

先物取引のように、将来の売買についてあらかじめ約束をするデリバティブ取引は利益追求だけではなく、将来のリスク管理の側面も持ち合わせる。

この概念は、大阪商人の知恵が生み出した発明だろう。

さて、2022年コロナも明けやらぬ中、その先の未来はボラティリティ（変動性）が大きい。

このリサーチパフォーマンスを通じて、中之島から派生（デリバティブ）した、1年後の大阪を見据えてみようと思う。

それは、我々の暮らすこの町の将来を予測し、今を観察し続ける態度を促す行為となるだろう。

これを中之島から大阪を俯瞰するパフォーマンス、「中之島デリバティブ」と名付けた。

林慎一郎

日時 令和4（2022）年10月7日（金）14：00開演／18：30開演 ※30分前開場

会場 吹田市文化会館メシアター小ホール

出演 小竹立原 加藤智之（DanielLonely）小坂浩之 橋本浩明

近江由紀子 小野毅 琴浦香代子 田守彫科 西山宏 藤波愛琳 松田栄子

入場料 無料（要事前申込・全席自由席）

観覧申込方法

中之島デリバティブ予約フォーム

(<https://www.quartet-online.net/ticket/nakanoshima2022>)

メシアタープレイガイド電話 06-6386-6333（9時～18時30分）

WEBサイト



チケット申込



公式ホームページ <https://ladderspapers.wixsite.com/derivative>

中之島に鮠を放つ 公式サイト [nakanoshima-itachi.org](http://nakanoshima-itachi.org)

※新型コロナウイルス感染防止のため、内容等変更する場合がございます。詳細はWebサイトをご確認ください。

舞台美術デザイン／柴田隆弘

照明／魚森理恵

音響／あなみふみ

舞台監督／西恵美子（（有）感動制作所）

制作／奈良歩 山崎達哉 鄭実香

稽古場協力／辰野株式会社 株式会社アートローク

企画立案／永田靖

主催：大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学総合学術博物館

共催：公益財団法人吹田市文化振興事業団

連携：あいおいニッセイ同和損保サ・フェニックスホール

大阪中之島美術館

浄るりシアター

公益財団法人吹田市文化振興事業団（メシアター）

豊中市都市活力部魅力文化創造課

兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）

公益財団法人箕面市メイプル文化財団

令和4年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」

大阪大学大学院人文学研究科と大阪大学総合学術博物館とが推進するアート人材育成プログラム「中之島に鮠を放つ」のプログラム（「場所のナラティブ」都市のアルケオロジ—）では、演劇公演「中之島デリバティブ」を開催します。  
この人材育成プログラムでは、学際性に富み、アーティストや地域社会との交渉能力を備えた、アート創造に関わることでできる人材を育成します。  
劇作家・演出家林慎一郎が講師を務め、大阪大学発祥の地、大阪中之島についてのリサーチ・ワークショップを8月から行うことによって、アーティストと受講生、研究者が交流しながらアート実践を重ね大阪中之島をテーマにしたパフォーマンス公演を創作しました。  
大阪大学ならではのパフォーマンス作品をお楽しみください。

